

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34 (13)	年2回の避難訓練は、毎年継続し行っていますが、「日中の火災」を想定した訓練がメインで、夜間帯や災害時の訓練が疎かになっている。	年2回訓練の時1回は「夜間帯の想定」や「災害時」訓練いずれかを行う。	高島町のハザードマップの確認を行い、どのような災害のリスクが、施設周辺に存在するのかを確認し、訓練に備える。 夜間帯を想定し、緊急連絡網の確認と、夜間の緊急時、連絡を受けた職員の集合状況を把握する。	6ヶ月
2	10 (6)	コロナ感染症の影響によって、ご面会可能な期間がその都度に変化する。コロナ前と比べ、施設の状況やご入居者様・ご家族様の意見を施設と意見交換しづらくなっている。	ご入居者様・ご家族様の意見を吸収し、運営に反映される体制の見直しと、面会の機会をより具体化し、ご家族様に伝える事ができる。	ご面会可能な期間を、施設機関紙「ぬくもり通信」を利用し、具体的に知らせる。 LINE・Zoom等を利用した、オンライン面会体制を確保し、高齢なご家族様へも対応が可能にできる様にする。	3ヶ月
3	50	可能な限りご入居者様の希望に沿って、お手紙や電話のやり取りを行って頂いているが、認知症の為、「繰り返し電話の要望があったりする場合が生じる時がある。	繰り返しの電話の頻度を減らし、安心して過ごして頂く環境作りを行う。	コロナ禍で、面会の頻度が少なくなっているが、「いつでもご家族様とコミュニケーションがとれる安心感作りを行う。具体的には、オンライン面会を施設よりご家族様からして頂ける様な促しを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。